

5 ルール

◇「ルール」って、だれのためにあるんだろう。

子どもは、家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

家庭内でよく話し合っ、一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させましょう。

「我が家のルール（例）」

一日一度は全員そろって話をする。

朝食は家族そろってとる。

家族みんながーか月に一冊は読書をする。

毎朝必ず家族全員があいさつを交わす。

一日一回はお互いに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える。

ケータイ、スマホは約束を守って使う。

◇ 社会のルールやマナーを教えよう。

機会をのがさず、ほめる、しかる

たしかめよう

- やってよいこと、悪いことの区別を教えている。
- うそをついてはいけないことを教えている。
- あいさつや礼儀の大切さを教えている。
- 困っている人を見かけたら、親切にすることを教えている。
- 愛情をもって、本気で子どもをほめたり叱ったりしている。
- 家庭の約束事について、家庭で話し合っている。

分かった？



我が家の約束事やルールを作ろう！

教えて！Q&A

Q 家庭のルールを作ったが、子どもがなかなか守りません。どうすれば子どもがルールを守るようになるのでしょうか？

A ルールづくりは、親子の共同作業です。保護者の一方的な押し付けではいけません。また、子どもの成長過程でルールは変わるものです。保護者の責任として見極めることが大切です。次のことを考えながら、ルールづくりを試してみてもいいでしょうか。

- ① 子どもの発達に合ったルールをつくる。
- ② 子どもと話し合いながら決める。
- ③ ルールを守れなかった場合のルールを決める。
- ④ 一度決めたルールも定期的に見直す。